

『あるって くるぶニュース』は、芸術分野の様々な活動とまちづくり運動を自主的に企画、運営、支援する市民のグループで非営利組織の『あるって くるぶ』(Arte club)の活動状況のご報告と今後の予定、他の地域で活動しているグループの情報をお知らせするメディアです。

・・・こんな活動をしています、ご参加ください・・・ どなたでも参加できますが、会員には特典があります。

あるってくるぶ ギャラリー

—活動のご報告—

◇別府 博文展『彫刻』

・9月15、16、17、22、23、24日

秋だと言うのに熱い九月、ゲストは、別府博文さん。ブロンズの作家で、具象なのですが、無いのです、身体のいろいろな部分が。「遺跡」の作品群では、静かに過ぎ行く時間の中で、腐食されてゆくように、失って行った身体の一部は、あったときの存在の証しが刻印されていました。「風…」の作品群では、時間は風となって吹きすさび、時の流れの中に置き忘れてきてしまったものは、夢を掴むための腕？ それともこころ？ 私達が大人になって失ったことにも気づかずにいる「部分」の存在に気づき、喪失感を共有したように感じました。

別府さん、お話しが苦手なのに、たくさんお付き合い下さり、ありがとうございました。ふくよかな風貌の下のとても繊細な感性に感動しました。



◆お知らせです

われらの仲間、百鬼丸さんの展覧会が目白押しで～す！

- ① 鶴ヶ島市中央図書館展 10月 3日～15日
- ② 富士吉田市役所ロビー展 10月21日～31日
- ③ 百丈展 11月 3日～ 8日

百鬼丸さんは現在、週間文春に連載中の宮部みゆきさん著 小説「ゼブツェン」のさし絵を担当しています。来年1月からは、毎日新聞の朝刊の連載が始まり、(著者は北方謙三さん)忙しくなりますよ。頑張ってくださいね！

—これからのスケジュール—

◆2000年 アルテクラブ企画展

・金土日のみ開廊・三番ギャラリー

本山あかね展『陶器』 10月13、14、15、20、21、22日
12:00～19:00

オープニングパーティー 10月12日(木) 17:30より

・味覚の秋です！音楽はお休みして、本山あかねさんの器で秋を味わいませんか。題して「ちあきさんとまきさんの秋の食卓」、和食とお酒(神亀)でお待ちします。もちろん、差し入れ大歓迎！
お問い合わせは、小野寺万起 0493-35-4506 まで
・パラソルショップ会期中、同時開催(陶器系)

★作家プロフィール

1988年 比治山女子短期大学美術科陶芸卒業
1990年 同短大 陶芸研究生 修了
1998年 益子にて作陶を始め現在に至る

1991年、1992年、1993年
グループ展「おかしなうつわ」展に出品
(天満屋広島店)

1995年 二人展「あも」展に出品(王泊ダム)

1997年、1998年、1999年
グループ展「彩彩展」に出品(天満屋福山店)

◆2000年 アルテクラブ企画展・11月12月の予定

高野 勉展『木版画』 11月17日～2日
高松 潤一郎展『絵画』 12月8日～17日

◆お知らせです

皆様、そろそろ、来年の計画をたてませんか。事務局で希望している方々は下記のとうりですが、まだ作家のご都合はお聞きしていません。皆さんも、ご提案下さい。アートの分野は問いません。三番町ギャラリーで対応出来ない場合は、他の場所を探します。

- ネストル・グスマン展 [大理石・彫刻]
戸田 和子展 [人形]
岡田 忠明展 [平面]
榊本 純子展 [ファイバーアート]
高浜 均展 [平面・変形]
出店 久夫展 [平面・ミクストメディア]
わた辺 きょうこ展 [七宝・伝統工芸]
山本 和子展 [立体]
木島 隆夫展 [シルクスクリーン]
小峰 貴芳展 [金属・鑄金]
城下りり子さん、キブシさん、など、+ド、

バリケンの唄

埼玉新聞 '99.11.14 朝刊19面に寄せて

ぼくらは中南米のノバリケンから肉食用にされたそうです
元は光沢のある緑黒色が、同色から白色まで、模様も様々

増えすぎると嫌われて、仲間達は次々となくなりました
瑞穂町、狭山ヶ池の5年前の大虐殺は仲間の語り草。

川越、大東、増形の湧水地でも、
西中の池でもずっとひとつがい。
小畔水鳥の里の仲間が多いですが、ふえもせず日向ぼっこ

生態系を乱すとのおしかりですが、
何も悪さはしていません。
殺されつくしていなくなった荒川下流に
大雨で上流から来たマムシと同じ。

ぼくらは見苦しいのはきらいなのですが、
よく車にひかれます。
のんびり屋で散歩したいものですから。
がマガエルと同様に。

熱帯出身の極彩色のスズメ大の小鳥や
代々の帰化植物と同様、
ぼくらも大東の生態系です。住民登録を受け付けて下さい
エサは不要。



あるって くるぶ コンサート

——これからのスケジュール——

♪<高野 勉展『木版画』> オープニングコンサート
11月16日午後6時半より東秩父村を中心とした皆さん
による、秩父囃子があります。子ども達も参加します。
お楽しみに～!

◆お知らせです

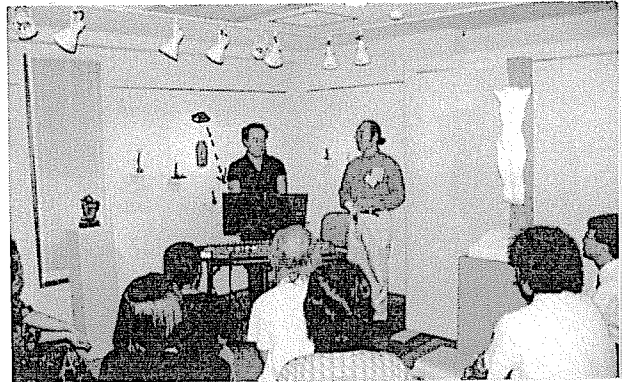
♪<飯泉昌宏トリオ+1>ライブをやりましょ～!

2月のオープニングコンサートにギターとボーカルで
登場いただいた、飯泉さんご夫妻には、小さなお子さん
がいらっしゃいます。その時、「我々世代のお母さんがた
にも聞きに来てほしいよね!」と言う、飯泉さんの一言
に、「それは、アルテクラブ企画であれば出来るんじゃない?
?」という、実働グループの前向きな発言があり、保
育サービスを付けた土曜日か日曜日の午後コンサート
を企画しようということになりました。現在飯泉さんは、
オリジナル作品の制作とリハーサルに専念するため、ラ
イブ活動を休止していますが、ライブ活動再開となりま
したら、ぜひ「休日の午後、子どもと出かけるコンサ
ート」を開催したいと思います。

♪ <別府博文展オープニングコンサート>

9月14日渡辺映二さんの演奏は、別府さんの作品か
ら受けるイメージをピアノ曲にしたもので、キーボード
による演奏でした。

別府さんの作品「遺跡」や「風の記憶」のシリーズの
コンセプトを明確に伝えるもので、時間が止まっている
かのような楽章、吹きすさぶ風のスピード感溢れる楽章、
「別府アト・渡辺ワールド」のシンフォニーを楽しみました。
スポーツジムでウェイトトレーニングを重ねていらっし
やる逞しい渡辺さんの、繊細でしかも迫力のある演奏会
のタベでした。



♪<人形浄瑠璃 in 川越>

9月25日(月)

・昨年ギャラリートークでお目にかかった竹本文字久太夫
さん達5人がやってまいりました!

「蔵のまち 川越に文楽がやって来る!」

——武蔵野の面影が残る、料亭 山屋さんで文楽とお食
事のタベが開催され、予想に反して(?)126名もの
皆さんがおいでになり、ゆったりとお食事とお庭を楽し
む余裕があまりありませんでした。次回の反省点です。

出演者 大夫 竹本文字久太夫
三味線 竹澤宗助
人形 吉田清之助
吉田勘弥
吉田菱一郎

・竹本文字久太夫さんはじめ出演者の皆さん方は、前日の
国立劇場通し狂言「仮名手本忠臣蔵」の公演を終えて、
それぞれ次の公演地に向かう間に立ち寄って下さいまし
た。

・前半は声色の使い方、三味線の効果、お人形のそれぞれ
3人の役割と特徴などの解説があり、後半は艶姿女舞衣
より、酒屋の段、お園の口説き「半七つあん、どこにど
うしてござろうぞ・・・」と、世話物の代表的な出しもの
で、いつものお座敷なのに「今、ここだけは別の時間が
流れている」「幽玄の世界」を満喫しました。

・何と言っても、本日のメインイベントは、大夫さん達と
お人形が最後に玄関でお客さま方を見送って下さったこ
とです。記念写真を撮り、握手をし、アルテクラブなら
ではのコミュニケーションでした。

・蛇足ですが、菱一郎さんは、川越は菅原町の出身で、今
でもご両親が健在だそうです。事務局草野の幼稚園、
小学校、中学校、大学の後輩にあたるのがわかりまし
た。ご縁があるのですね～!!